

箱を開けてから本機が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品が揃っていることを確認してください。

- 本体×1
- EXPRESSBUILDER×1
- スタートアップガイド(本書)×1
- 保証書×1*1
- 電源コード*2
- ソフトウェアパッケージ×1
- ベゼルロックキー×2
- フロントベゼル×1
- ケーブルタイ(電源コード固定用)*2
- スライドレール(アウターレール)取り外し工具×1



- 添付品は、なくさないよう大切に保管してください。
- セットモデルとBTO(工場組込み出荷)製品は、「組込み製品・添付品リスト」も併せてご確認ください。

*1 梱包箱に貼り付けられています。
*2 非冗長電源の場合：×1
冗長電源の場合：×2

Step 2 内蔵オプションを取り付ける

内蔵オプションを取り付けます(オプションを購入していないときや、BTOで購入されたお客様はStep3へ進んでください)。

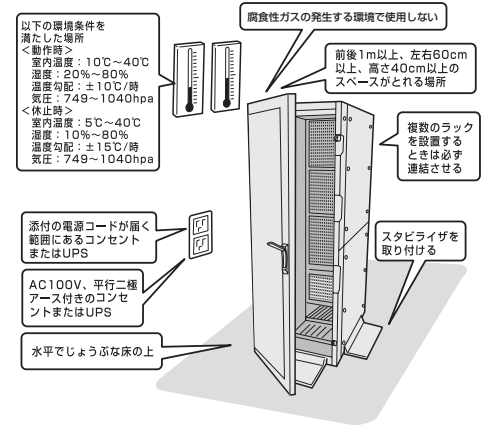
「ユーザーズガイド」の「内蔵オプションの取り付け」、およびオプションに添付の説明書を参照してください。

Step 3 ラックを適切な場所に設置し、本機を取り付ける

本機はEIA規格に適合した19型ラックに取り付けて使用します。ラックの設置は次の条件を守ってください。



「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。

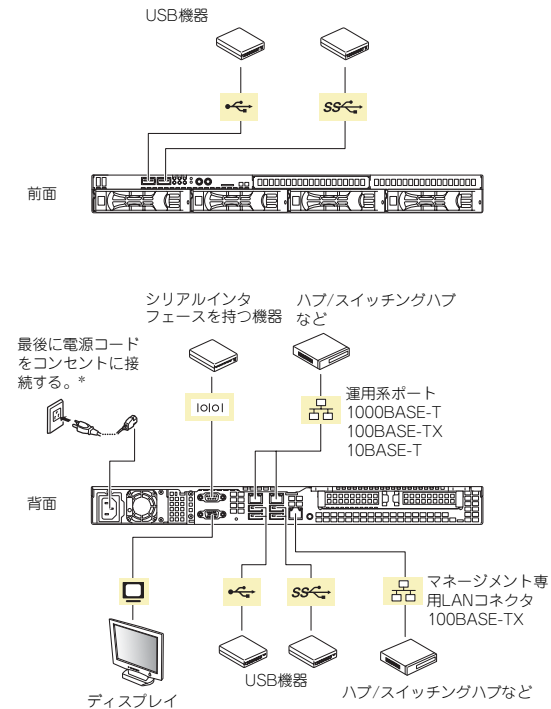


Step 4 ケーブルを接続する

LANケーブルと付属の電源コードを接続します。



「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。



* 電源コードは、15A以下のサーキットブレーカに接続すること。電源コードの脱落を防止するため添付のケーブルタイで電源コードを固定してください。



初期設定時は付属の電源ケーブルと1つのLANケーブルのみ本装置に接続してください。その他のケーブルは初期設定完了後に接続してください。

以上で本体の電源を ON にできる状態になりました。

Step 6 初期設定をする

管理PCで初期設定ツールを使用し、本装置の初期設定を行います。初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にある管理PC (Windows Server 2003/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012/Windows XP/Windows Vista/Windows 7/Windows 8)と添付のEXPRESSBUILDERを使用します。

初期設定に必要な情報として、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「コンピュータ名」、「管理者パスワード」を事前に決定してください。

- * 管理PCはiStorage NSと同一LAN上に存在するコンピュータを使用します。(管理PCは、他のネットワークへの接続は行わないでください。)
- * 管理PCでファイアウォールが有効になっていると、初期設定が正しく行えない場合があります。初期設定ツールで使用するポートをファイアウォールの例外に設定してください。設定方法については、初期設定ツールのヘルプの「検索」タブで「Windows ファイアウォール設定手順書」を検索してください。
- * 初期設定は1台ずつ行ってください。

初期設定ツールを起動せずにヘルプを参照したい場合は、以下のファイルを開いてください。
EXPRESSBUILDERの
¥NASAP¥iStorageNSsetup.chm

- ① 本体の電源が入っていることを確認し、管理PCの光ディスクドライブにEXPRESSBUILDERをセットします。
オートラン機能によりメニューが自動的に表示されます。セットしたタイミングによっては、自動的に起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。
- ② 【各種アプリケーション】をクリックして、表示されたメニューから【初期設定ツール】をクリックします。
- ③ 初回のみ【ご確認】の画面が表示されます。装置添付の使用許諾契約書をご一読の上、【OK】をクリックします。
- ④ 初期設定が必要なサーバーを検出するために、【開始】をクリックします。

対象となるサーバーが、初期設定ツール画面内の「サーバーのコンピュータ名」欄に「未設定」と表示されます。「未設定」のサーバーが検出されましたら、【停止】をクリックして自動発見を停止後、【終了】をクリックして自動発見を終了させます。なお、対象となるサーバーのOSが起動するまでには、構成によって、20～30分かかる場合があります。30分経っても検出できない場合は、再度【開始】をクリックしてください。

- ⑤ 「未設定」のサーバーを選択し、リモートデスクトップ起動の表示が「確認中」から「可」に変わった場合は、[リモートデスクトップの起動]をクリックして次のステップの③に進みます。「不可」に変わった場合は、【設定変更】をクリックします。
- ⑥ コンピュータ名、IPアドレス、サブネットマスクを入力して【適用】をクリックします。
- ⑦ 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、【OK】をクリックします。
- ⑧ 完了メッセージが表示されたら、【OK】をクリックします。

Step 7 管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する

本装置と同じネットワークアドレスにある管理PCを使用して必要事項を設定します。設定方法の詳細が必要な場合は、管理者ガイドを参照してください。

- ① 管理PC上でリモートデスクトップを起動します。
- ② 接続先に本装置のコンピュータ名またはIPアドレスを入力します。
- ③ ユーザー名に「administrator」を入力し、次にパスワードを入力して【OK】をクリックします。
- ④ リモートデスクトップ接続の画面内で【Ctrl+Alt+End】キーを押します。(【Ctrl+Alt+Delete】ではないので注意してください)
- ⑤ iStorage NSに接続されていることを確認し、【パスワードの変更】をクリックして、パスワードの変更を行います。



- 本装置のセキュリティを保つために、出荷時のadministratorのパスワードを必ず変更してください。
- パスワードの文字数は6文字以上である必要があります。また、パスワードには、英大文字、英小文字、数字、記号の4つの種類のうち3つの種類が使用されていなければなりません。
- パスワードの有効期限は初期設定では42日になっておりますので、お客様のポリシーに合わせて適宜変更してください。

- ⑥ 初期設定ツールで利用したポートを閉鎖します。
自動起動されているNEC提供の[管理者メニュー]から[Windows ファイアウォール]をクリックします。
"Windows ファイアウォール"ウィンドウの左上の[Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可]をクリックします。
"許可されたアプリ"ウィンドウの一覧の"iStraguisv"の左端のチェックをはずし、【OK】をクリックします。

Step 8 ESMPROをセットアップする

NECが提供するサーバー管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします(その他にもRAIDシステムを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは各ソフトウェアのドキュメントを参照してください)。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクなどの状態監視やサーバーに異常や障害が発生したときに自動的に本装置の電源をOFFにしたり、本装置監視用コンピュータへの通報などを行うユーティリティです。ESMPRO/ServerAgentをインストールした装置の状態は管理PC (ESMPRO/ServerManager)のディスプレイから確認することができます。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。EXPRESSBUILDERを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから[各種アプリケーション] - [ESMPRO]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

iStorage NS 連携モジュール

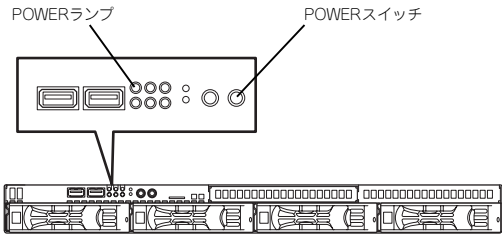
ESMPRO/ServerManagerがインストールされている環境にiStorage NS 連携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManagerより、リモートデスクトップ接続が起動できます。EXPRESSBUILDERを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから[各種アプリケーション] - [iStorage NS 連携モジュール]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

以上でセットアップは完了です。引き続き、管理者ガイドを参照して必要な設定を行ってください。

Step 5 電源をONにする

前面のPOWERスイッチを押して電源をONにします。

- ① 本体のLANポートコネクタとネットワーク環境として使用するHUBにLANケーブルが接続されていることを確認する。
- ② POWERスイッチを押して、本機の電源をONにする。



お読みください

電源制御機能の使用について

本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれています。スタンバイ/休止状態で運用しないでください。

本装置のシャットダウン操作について

本体のPOWERスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF)しないでください。シャットダウンは、管理PCからリモートデスクトップ接続し、シャットダウン操作を行ってください。UPSに接続している場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジュールシャットダウンを利用することもできます。

Storage Space について

Storage SpaceはRAID機能が有効になっている物理ディスクをサポートしていません。iStorage NSシリーズでは、RAID機能を標準で実装しており、無効化することができません。このことから、iStorage NSシリーズにおいては、Storage Spaceをご利用頂くことはできません。

ボリュームサイズの変更

ユーザーボリュームサイズを変更する場合は、データを格納する前に対応が必要です。手順については、管理者ガイド概要編「1.2 ボリュームを検討する」をご確認ください。

NICチームングについて

OSのNICチームング機能を利用する場合は、すべて同じ速度のNICを用いてチームを作成してください。

本装置のドキュメントについて

管理者ガイドおよびユーザーズガイド・メンテナンスガイドはEXPRESSBUILDERに格納されていますが、改版されることがあります。最新版は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。

[NEC iStorage NSシリーズサポート情報]
http://support.express.nec.co.jp/istorange/
[補足]
上記 URL にて "型番・モデル名から探す" を選択し、テキストボックスにモデル名を入力して検索してください。

iStorage NSシリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、基本となるサポート情報を以下のサイトに公開していますので、定期的にご参照頂くか、RSSの配信登録を行い、製品をメンテナンスされることをお勧めします。

http://support.express.nec.co.jp/istorange/

また、有償の保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しております。本サービスを契約いただくと、電話や電子メールなどでのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWebサーバーへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのリビジョンアップ(修正プログラム)情報の提供などもご契約者様だけのサービスとなります。

「PP・サポートサービス」の詳細内容については、以下をご覧ください。
[PP・サポートサービス] ご案内のページ
http://www.nec.co.jp/service/support/pp/index.html

お客様登録をする

保証書に記載されている保証を受けるためには、ユーザ登録が必要です。インターネット (ClubExpressサイト) よりユーザ登録を行ってください。
http://club.express.nec.co.jp

商標について

EXPRESSBUILDER、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2013
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。